

【編集後記】

本学は念願のくるみんマークを取得した。「申請条件を満たすには、あと男性の育児休業者がいれば！」と聞いてから3か月後、我が人事課について育児休業取得者が現れた。休業中の6か月の間に彼は幾度となく息子を連れてやってきたが、睡眠不足と疲労が入り混じった「イクメン」の顔が穏やかで幸せそうに見えたのは私だけではなかったと思う。

2014年7月、企画専門部会メンバーの任期満了の時期を迎えた。再任の打診に対しすべてのメンバーに快諾をもらった。2015年4月には他大学へ異動の平井良昌人事課長に代わって上野山諭氏が着任し、担当係長との二役を担っていた千原弘美氏も他課へ異動してメンバー専任となった。千原氏の後任である九鬼志郎福祉係長は、自らも同年4月に1児の父となり育児休業取得に意欲を見せている。想定外の「難産」だったくるみん申請手続きも粘り強く対応してくれた頼もしい存在である。前号の発行に尽力してくれた津守朋子主任が第二子の育児休業から7月に復帰、今号の編集を前に実に心強くホッと胸をなでおろした。

この2年の間には学外機関との交流も行われた。大阪府立大・大阪市立大が共同で文部科学省に申請した女性研究者支援事業の連携機関の一つに加わったり、両学内の保育施設やドーンセンターの見学機会を得たり。これらの交流については、中西正人理事（広報・附属学校担当）のお力添えによるところが大きい。

トイレ改修の話が進み、ベビーキープとベビーシートの設置に関し施設課から声をかけてもらった。「トイレ整備」→「男女共同参画」と直結するところにこれまでの部会のさまざまな取組の成果を感じた。ただ計算外だったのは、改修後の苦情まで届いたこと…。

2年前から男女共同参画関係業務に携わることになった。二度の育児休業を取得してなお勤務を続けられるのは、これまで温かく見守ってもらった職場環境のおかげである。改めて感謝し、精力的に活動を続けておられる部会メンバーのサポートができればと考える。

（事務担当：人事課 南山記）

2014・2015年度大阪教育大学男女共同参画報告書

発行日 2016（平成28）年3月25日

発行 国立大学法人大阪教育大学男女共同参画推進会議企画専門部会

編集 国立大学法人大阪教育大学男女共同参画推進会議企画専門部会

永井由美子，安達智子，上田裕美，上野山諭，小松孝至，

高山新，千原弘美，富永雅，廣木義久，山近博義

総務部人事課

南山美智子，九鬼志郎，津守朋子